

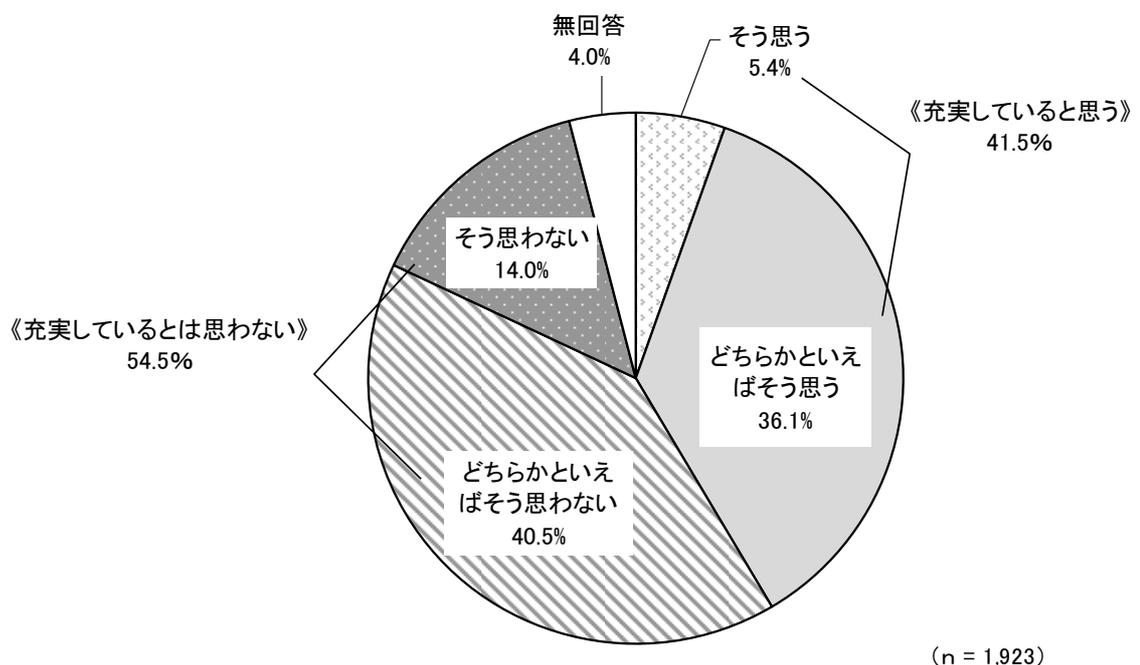
15. 多文化共生

(1) 区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度

◎ 《充実しているとは思わない》が5割半ば

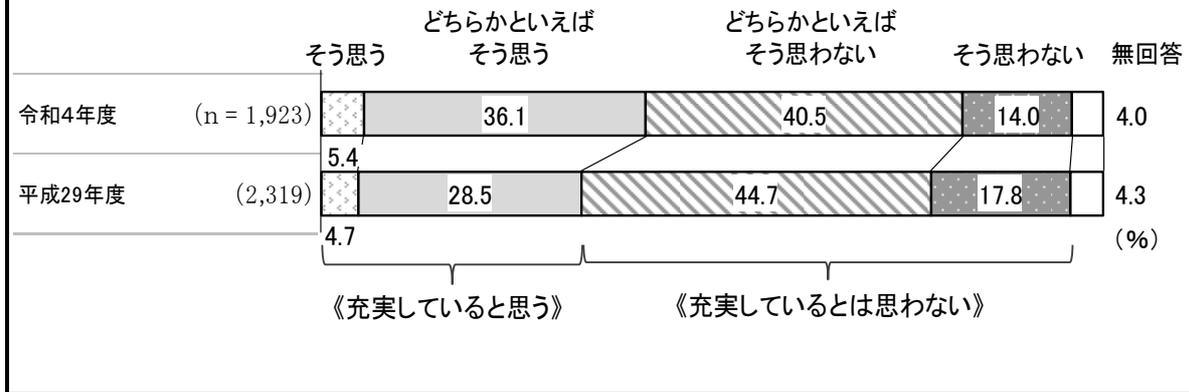
問44 あなたは、「外国人と日本人が共に暮らす」という視点からみて、区の多文化共生社会の実現に向けた施策が充実していると思いますか。(〇は1つ)

図15-1-1



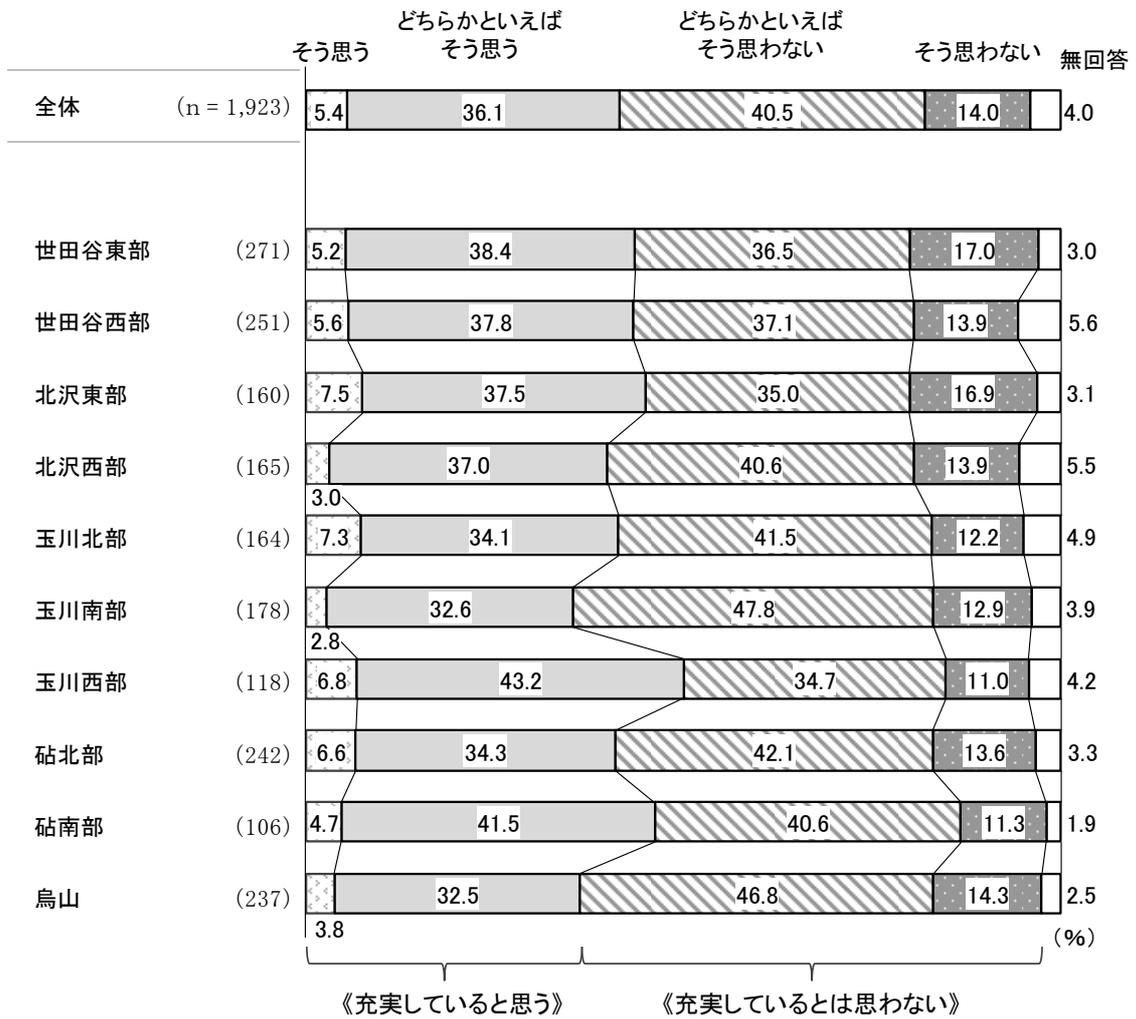
区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度を聞いたところ、「どちらかといえばそう思わない」(40.5%)がほぼ4割で最も高く、「そう思わない」(14.0%)と合わせた《充実しているとは思わない》(54.5%)が5割半ばとなっている。「どちらかといえばそう思う」(36.1%)と「そう思う」(5.4%)を合わせた《充実していると思う》(41.5%)は4割を超えるにとどまっている。(図15-1-1)

図 1 5 - 1 - 2 区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度（時系列）



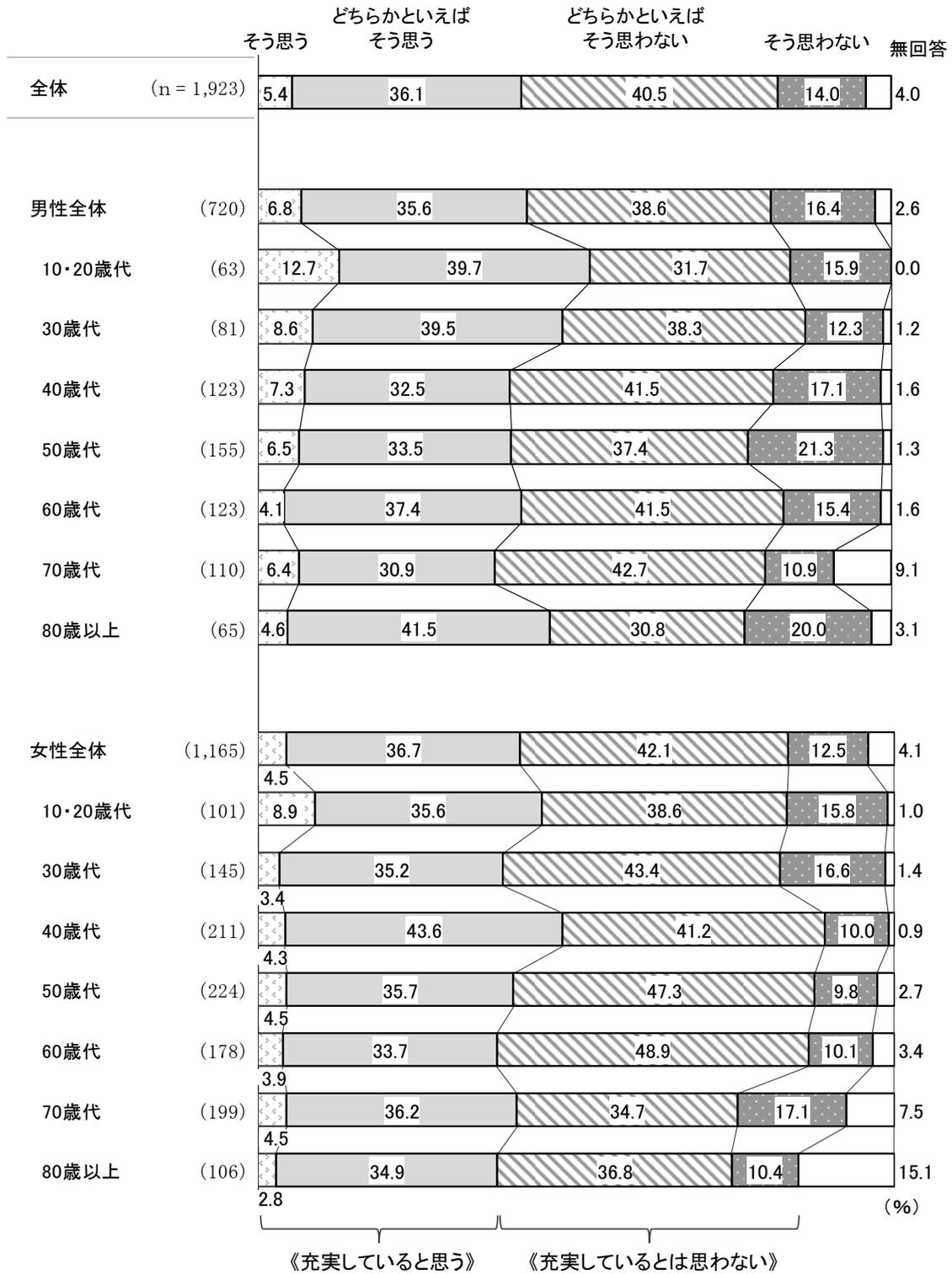
平成 29 年度からの時系列の変化をみると、《充実していると思う》は平成 29 年度（33.2%）から令和 4 年度（41.5%）で増加している。（図 1 5 - 1 - 2）

図 1 5 - 1 - 3 区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度（地域別）



地域別にみると、《充実していると思う》は玉川西部で5割となっている。《充実しているとは思わない》は烏山で6割を超えている。（図 1 5 - 1 - 3）

図 15-1-4 区の多文化共生社会の実現に向けた施策の充実度（性・年齢別）



性・年齢別にみると、《充実していると思う》は男性の10・20歳代で5割を超え、女性の40歳代で5割近くとなっている。《充実しているとは思わない》は男性の40歳代、50歳代で6割近く、女性の30歳代で6割となっている。（図15-1-4）